

小屋裏収納やロフトの入力方法（小屋裏の利用）

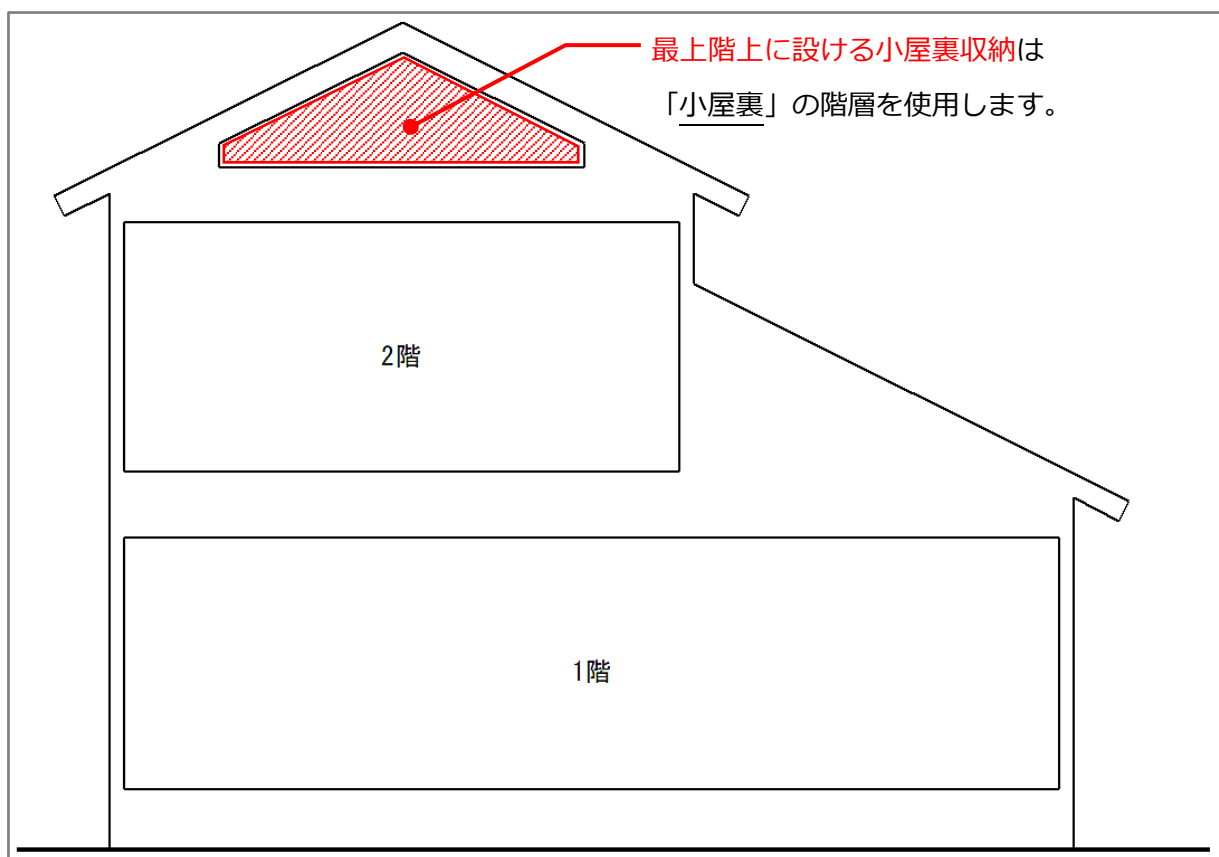
文書管理番号：1107-04

Q. 質問

小屋裏収納やロフトを入力したい。

A. 回答

最上階の小屋裏に小屋裏収納やロフトを入力する場合は、「小屋裏」の階層を使用します。




ここでは、小屋裏の階層に、2階建ての2階小屋裏部分の小屋裏収納を入力する方法を説明します。



2階の部屋の一部にロフトを作成する方法や、吹き抜けで繋がるロフトを作成する方法については、こちらをご覧ください。

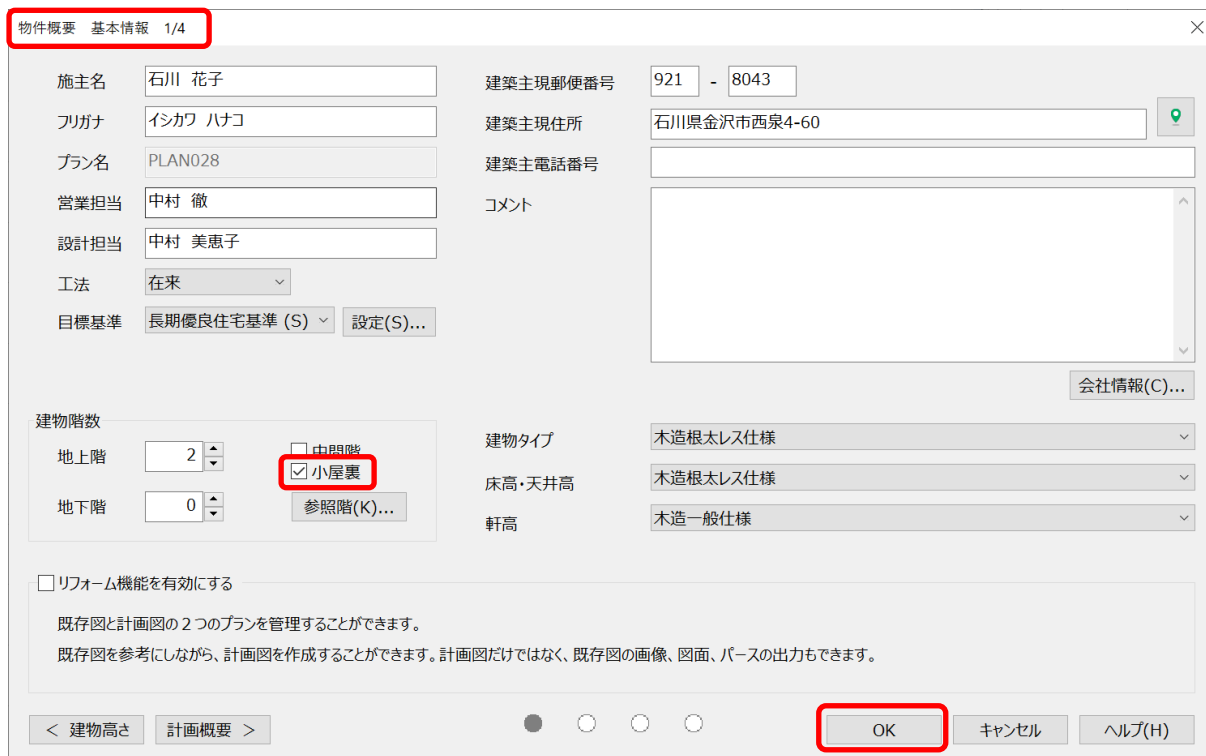
[\[1108\] 小屋裏収納やロフトの入力方法（部品の利用）](#)

[\[1237\] 下階と吹き抜けで繋がる小屋裏（ロフト）の入力方法](#)

操作手順

- ①  (物件概要)の「基本情報」画面で、建物階数の「小屋裏」にチェックを付け、「OK」をクリック

- * 物件を作成中の場合は、 (クイックメニュー)またはメインメニューから  (物件概要)をクリックします。



物件概要 基本情報 1/4

施主名 石川 花子
 フリガナ イシカワ ハナコ
 プラン名 PLAN028
 営業担当 中村 徹
 設計担当 中村 美恵子
 工法 在来
 目標基準 長期優良住宅基準 (S) 設定(S)...

建築主現郵便番号 921 - 8043
 建築主現住所 石川県金沢市西泉4-60
 建築主電話番号
 コメント

建物階数
 地上階 2 中間階
 小屋裏
 地下階 0

建物タイプ 木造根太レス仕様
 床高・天井高 木造根太レス仕様
 軒高 木造一般仕様

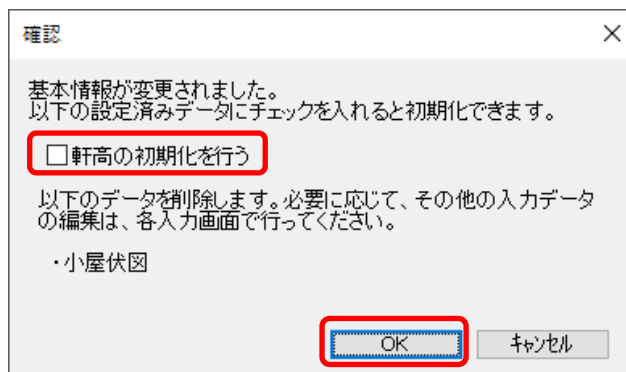
リフォーム機能を有効にする
 既存図と計画図の2つのプランを管理することができます。
 既存図を参考にしながら、計画図を作成することができます。計画図だけではなく、既存図の画像、図面、パースの出力もできます。

- * プラン図が起動します。物件を作成中の場合は起動している各アプリケーションが再起動します。

【参考】

物件作成途中に物件概要の内容を変更した場合は、右図のような「確認」画面が表示されます。ここでの変更内容は小屋裏の追加のみなので、「軒高の初期化を行う」にチェックは入れず、「OK」をクリックします。

- * 「軒高の初期化を行う」にチェックを入れた場合は、軒高の数値が「基本情報 1/4」の「軒高」で選択している仕様の初期値に変更されます。



確認

基本情報が変更されました。
 以下の設定済みデータにチェックを入れると初期化できます。

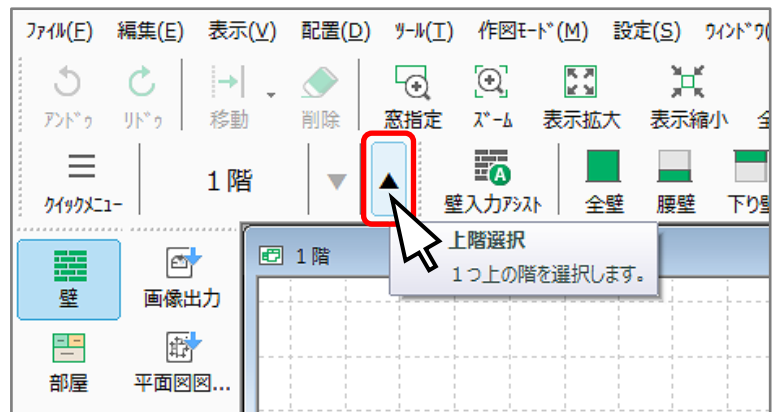
軒高の初期化を行う

以下のデータを削除します。必要に応じて、その他の入力データの編集は、各入力画面で行ってください。

・小屋伏図

② (プラン図)の階層ボタンの▲(上階選択)をクリックし、「小屋裏」を選択

* 最上階 (2階建の場合は2階)の上
に小屋裏階が表示されます。



③ プランを入力

- * 1階、2階などの階層同様に、小屋裏も (壁)や (部屋)などを使用して作図していきます。
- * プラン図作成後、パースを確認します。



<小屋裏のプラン例>

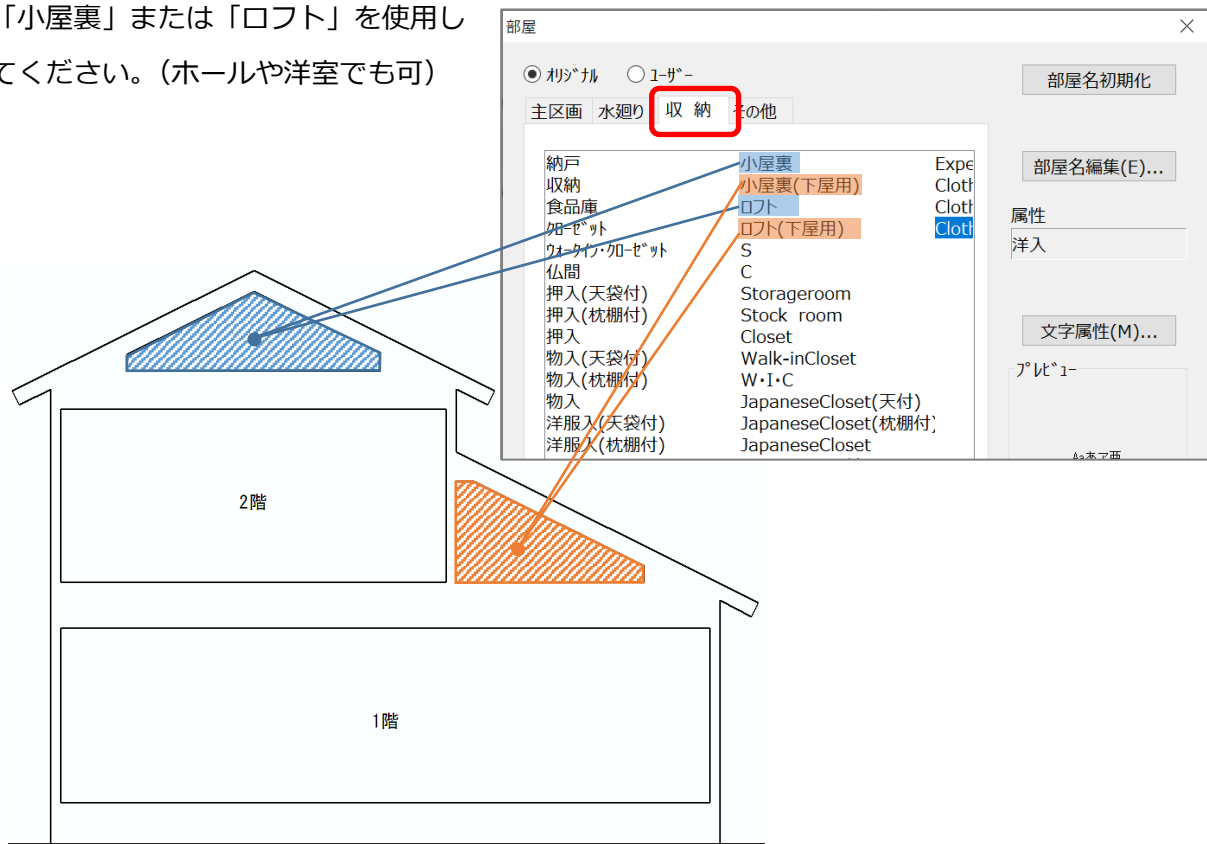


<小屋裏のパース>

【注意】 部屋設定の小屋裏(下屋用)・ロフト(下屋用)

最上階の屋根下にあたる、小屋裏の階層に部屋を設定する際は、「小屋裏(下屋用)」、「ロフト(下屋用)」は使用しません。

「小屋裏」または「ロフト」を使用してください。(ホールや洋室でも可)



* 「小屋裏(下屋用)」「ロフト(下屋用)」は下屋裏に設ける部屋に使用します。

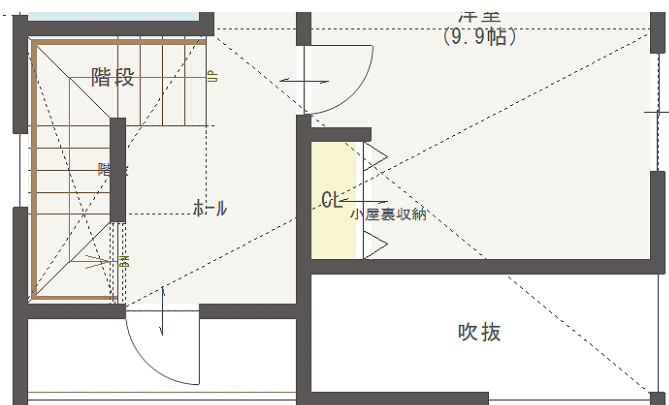
【参考】

小屋裏でプランを入力すると、下階のプラン図上に小屋裏収納が自動配置され、小屋裏階の領域を点線 (点線図) で表示します。

* 点線領域 (点線図) を削除しても他に影響はありませんが、小屋裏の区画範囲の変更や、部屋の再設定などで、点線領域が自動で再作成されます。

* 平面図に小屋裏領域を点線表記のみで表現する (パース表現は行わない) 場合は、 (部屋) の (小屋裏収納) を入力してもかまいません。

<下階 プラン図>



小屋裏の階層の特長

- **屋根伏図**

屋根伏図に小屋裏は表示されませんので、最上階（2階建の場合は2階）で屋根を入力します。小屋裏で入力した壁は最上階の屋根で止まります。

- **壁量チェック**

設定した階層（2階建ての場合は2階層）で計算を行います。

- * 小屋裏に入力した区画の床面積に「準備入力」⇒「詳細設定」⇒「壁量係数」にある小屋裏の「告示 1351号に基づく面積係数」を乗じたものが、下階床面積（2階建てであれば1階と2階）に加算されます。

- **立面図・断面図・矩計図**

軒高は最上階（2階建の場合は2階）の軒高を表示します。小屋裏は寸法表示の対象にはなりません。

- **法規チェック（採光・換気・排煙チェック）**

小屋裏は計算対象になりません。

- **採光シミュレーション・簡易通風シミュレーション**

小屋裏もシミュレーションすることができます。

- * 簡易通風シミュレーションは「確認高さ」の設定があります。「確認高さ」の初期値は1400mmのため、必要に応じて「確認高さ」の変更を行ってください。計算したい建具が「確認高さ」に無い場合は計算対象外となります。

- **図面編集・図面マネージャ**

小屋裏が自動配置されるテンプレートは用意がないため、小屋裏の図面を個別に作成し、手動での読み込みが必要となります。


- **プレゼンボード**

あらかじめ用意されているテンプレートには、小屋裏用のものではありません。

しかし、1階+小屋裏の場合は2階建て用のテンプレートを、2階+小屋裏の場合は3階建て用のテンプレートを選択し、オートプレゼンテーションを実行すると、2階や3階の平面画像読み込部分に小屋裏の平面画像が自動読み込まれます。図面タイトルなどの文字修正は必要です。

それ以外の場合は、小屋裏の平面画像を個別に作成し、手動での読み込みが必要となります。

- **伏図関連**

小屋裏の床部材は、 (床伏図)で入力します。
床伏図の階層切り替えに「小屋裏」が表示されます。

- **仕上表**

小屋裏に入力した部屋は、仕上表の設定対象になります。
ツリービューに表示される「小屋裏」に切り替える事で小屋裏に入力した各部屋の仕上内容を設定
できます。

- **数量算出**

小屋裏に入力した部材は、数量の算出対象になります。

- **高さマスター設定ツール**

高さマスター設定ツールに、小屋裏の設定項目はありません。

- * 小屋裏に配置した部屋の天井高は「1400mm」に設定されます。
プラン図や高さ設定で変更が可能です。
- * 「床高・天井高」に表示される「小屋裏」「ロフト」は部屋属性です。ここで紹介している階層
の「小屋裏」とは異なります。